

AGENDA

淡路夢舞台国際会議場ニューズレター

2011
夏号

VOL.44

平成23年8月発行
兵庫県立淡路夢舞台国際会議場
兵庫県淡路市夢舞台1番地
電話 (0799) 74-1020
FAX (0799) 74-1021
<http://www.yumebutai.org>



あらゆる会議を
トータル
コーディネート

夢舞台国際会議場で
実りある会議を!

写真上: ポプラの丘に咲くトレンシア
(国営明石海峡公園)

写真下: 高原を彩るひまわり
(あわじ花さじき)



2011年8月～2012年3月開催予定の主な会議一覧

会議名	主なお問い合わせ先
8月 第24回 回路とシステムワークショップ 第12回アジア太平洋フォーラム・淡路会議	同実行委員会 公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構
グローバルCOEサマーキャンプ2011	奈良先端科学技術大学院大学 グローバルCOEプログラム
CICP2011	奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科
9月 The 12th Annual Symposium Japanese Society for the Advancement of Women's Imaging 2011年度東西コンファレンス Kyoto University Global COE "Center for Frontier Medicine" International Symposium/Retreat 2011 第5回看護診断セミナー 第32回日本肥満学会	熊本大学大学院生命科学研究部 財団法人関西社会経済研究所 京都大学医学研究科 関西看護医療大学 日本肥満学会実行委員会
10月 Fourth Conference on Biosynthesis of Plant Cell Walls アジア青年建築交流会議 International Symposium on Adaptive Motion in Animals and Machines (AMAM2011) 平成23年度秋季講演大会	奈良先端科学技術大学院大学 財団法人大阪府国際交流財団 大阪大学大学院工学研究科 社団法人日本非破壊検査協会
11月 The CDB Retreat 2011 第1回分子活性化国際シンポジウム 第5回日露分子スピニング分子磁性国際会議 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 博士論文中間審査会	理化学研究所 神戸研究所 発生・再生科学総合研究センター 大阪大学大学院工学研究科 大阪市立大学大学院理学研究科 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科
12月 The 24th KCCNN Symposium on Civil Engineering	京都大学大学院工学研究科
1月 IFREC SIGN Winter School on Immunology 第6回順心会研究交流会	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特定医療法人社団順心会
3月 野村ゼミ/西川ゼミ研究発表会	神戸市立外国語大学外国語学部

※上記は都合によりキャンセル・変更される場合があります。

開催に寄せて

Fourth Conference on Biosynthesis of Plant Cell Walls
第4回植物細胞壁生合成会議 2-5 Oct. 2011

昨今のエネルギー問題を受けて、再生可能な植物バイオマス(とくに陸上での賦存量が莫大な樹木の幹や草の茎を由来とする木質バイオマス)をエネルギーとして利用することの重要性が再認識されるようになってきました。木質バイオマスの主要な成分は植物がつくり出す細胞壁であるため、ここ最近、木質バイオマスのエネルギー利用の観点からも植物細胞壁に関する研究が世界中で大変盛んに進められています。日本における植物細胞壁の研究レベルは極めて高いことから世界にその実力を認められており、数多くの国際共同研究も行なわれています。この会議にはそういった国際共同研究者をはじめとして、世界各国の大学、公的研究機関、関連企業から約160名の植物細胞壁研究者が集い、細胞壁の生合成や役割、細胞壁の産業利用などについての発表と討論が行われる予定です。約70題の口頭発表を中心とした5日間のプログラムの中日の午後には淡路島の名所を巡るエクスカッションとカンパレンスディナーも企画されており、参加者の交流の場になると期待されます。この会議は今回で4回目になりますが、これまでの3回はアメリカ合衆国カリフォルニア州で開催されており、日本での開催は初めての事です。日本の若手の植物細胞壁研究者を中心にした研究会「植物細胞壁研究者ネットワーク(2007年設立)」が会議の企画・運営にあたります。東日本での震災後の大変な時期に日本での開催となりましたが、海外からの参加者の皆様には、震災からの復興が着々と進んでいることを印象付けることができると信じています。



奈良先端科学技術大学院大学
バイオサイエンス研究科
教授
理化学研究所バイオマス
工学研究プログラム
チームリーダー

出村 拓

開催を終えて

13th International TNF Conference
第13回TNF国際会議 15-18 May 2011

本会議は2年に一度、開催される国際会議で、2年前マドリッドで日本での開催を指名され、準備を進めてきました。ところが、3月11日東日本を襲った大震災、津波は福島原発からの放射線物質の飛散という事態をもたらしました。外国人は一斉に日本を離れ、予定されていた国際学会は次々にキャンセルされました。本学会を開催するかしないか決断する必要があり、3月19日組織委員が集まりました。比較的開催に否定的であった小生に対し、他の組織委員から日本の若い研究者を元気づけるためにも、参加者が日本人だけになっても開催すべきとの意見が相次ぎました。結局、事態が悪化しないようであれば開催するとの結論に達し、4月8日、参加予定者に震災の状況、淡路島の地理的状況を説明し、本会議を予定通り開催すると通知しました。その直後から「よく開催を決意した。必ず出席する。今度は我々の番だ。」とのmailが欧米の研究者から殺到しました。結局、会議には20カ国から208人が参加しました。



京都大学 医学研究科
教授

長田 重一

会議ではTNFや炎症反応に関するhotな話題が次々討論されました。学会が終わった後、夢舞台から三ノ宮へのバス、乗り合わせた若い欧米の研究者から「Thank you, Dr. Nagata, for very impressive and productive conference」。



すべての苦勞が報われた瞬間です。夢舞台国際会議場、ウェスティンホテル、兵庫県国際交流協会の皆様に感謝いたします。

Shikata Discussion 2011

26-29 May 2011



京都大学大学院
工学研究科
教授

垣内 隆

Shikata Discussion 2011は、名前からすると以前からあるようだがこれが初めてで、今後も続くかどうか、とりあえずは単発の電気分析化学を主題とする国際シンポジウムである。「Shikata」は、志方益三先生にちなむ。先生は京都大学農学部に研究室を開くに先だって1923年から2年余、欧州を巡られ、プラハのヘイロフスキー先生のもとでポーラログラフという装置を考案、命名された。これがもとになって電気化学の解析的な研究が大いに進展し、1959年、ヘイロフスキー先生にノーベル化学賞をもたらした。彼の創案がキーとなって片やノーベル賞でその後もチェコでは Heyrovsky Discussion が40回以上も連綿と開催されているのに対し、先生の名前を冠したものがわが国に残っていないのは、どうもバランスを欠く。わが国の電気分析化学への貢献も少なからずある。そう思って、お名前を使わせていただいた。「Discussion」は、論争を避ける傾向のある昨今、科学に討論と批判は欠かせないことを強調する意図である。

参加者は82名(外国からの参加は12カ国26名)で、活発な意見交換が行われた。ご支援をいただいた皆様ならびに財団など諸団体に御礼申し上げます。



The 1st International Symposium on Molecular Activation
第1回分子活性化国際シンポジウム

8-10 Nov. 2011

本国際シンポジウムは、文部科学省科学研究費・新学術領域研究(研究領域提案型)「直截的物質変換をめざした分子活性化法の開発」の一環として平成23年11月8-10日に淡路夢舞台で開催されます。本学術領域では、今まで不可能あるいは困難と思われてきた新しい触媒反応の開発をめざします。具体的には、炭素-水素、炭素-炭素、炭素-酸素、炭素-フッ素結合など不活性といわれている化学結合、あるいは窒素、二酸化炭素、メタンなどの不活性な小分子の活性化を経る直截的分子変換反応の開発を目的としています。そのための鍵となるのが、新しい結合活性化法の開拓、新しい反応活性種の創出、新しい反応場の構築です。これらを達成するために、有機合成化学、有機金属化学だけでなく、触媒化学、表面化学、無機化学、生化学、分析化学、高分子科学など広い研究分野との融合する必要があります。本シンポジウムは、そのようなきっかけになることを期待しており、関連分野の多くの国内外の研究者が一堂に会することは意義が大きいと思っております。



新学術領域研究
「分子活性化」領域代表
大阪大学大学院工学研究科
教授

茶谷 直人

淡路夢舞台温室 奇跡の星の植物館

ガーデンルネサンス2011
あわじアルチザン
フェスティバル

10/1(土)~11/13(日)

花をめ、酒をかわし、食し、歌い、踊る—日本の花文化は日本の様々な伝統文化・工芸を生み出してきました。島内外のアルチザンが淡路島に集まり、皆が一つになって日本の花文化を「庭」と「味覚」でトータルに伝えます。自然豊かな花と緑の公園島淡路が持つ本来の魅力を「花」「地域の自然・味覚」「伝統産業」「伝統文化」「アート」をコラボレーションさせ、現代のライフスタイルに合わせておしゃれでモダンにデザインします。夢コレクション「空宙百華園」では伝統園芸、ショースペース、植物館全体に、壁面緑化、土壁緑化、ハンギングバスケット等ありとあらゆる立体緑化が登場します。今回は3人のデザイナーとアルチザン・企業が自然と人間の共生をテーマに提案する、21世紀型の伝統的かつ五感に訴えるオーガニックヴァーティカルガーデンとなります。



空宙百華園

10/1(土)~11/13(日)

デザイナー: 正木寛 (ABDESIGN(株))
玉井禎晋 (IVY TAMAI)、
辻本智子 (奇跡の星の植物館
プロデューサー、(株)辻本智子環
境デザイン研究所)
アーティスト: 久住有生 (左官(株))
矢野敦一 ((有) 矢野陶苑) 他

ジャパネスクガーデン

—日本の美学がよみがえる庭—

あわじカフェ&マルシェ

10/1(土)~11/11(金)

あわじアルチザンオープンガーデン

—職人たちの庭—

10/9(日)~10/10(月・祝) ※バスツアー

1月~6月に開催された主な会議



第5回糖尿病療養看護セミナー
(1月)



International Symposium
Physicochemical Field for Genetic
Activities (1月)



第3回日本呼吸機能イメージング研究学術集会/
第5回肺機能イメージング国際ワークショップ(1月)



第5回順心会研究交流会(2月)



健康工学研究部門研究会(2月)



第4回看護診断研究セミナー(2月)



ITあわじ会議(3月)



第7回平成医療福祉グループ学術
大会(5月)



第1回国際版画会2011
(6月)

経験豊富なコンファレンスコーディネーターが、 円滑で実りある会議をトータルコーディネート

年間数十件の会議をお手伝いするコーディネーターは、開館以来様々な実績を積み上げてきました。当館の国際会議開催年間件数は常に全国10位以内を記録しております。

会議プランニング段階から終了後まで、主催者様と二人三脚で最善を尽くします。

会議プログラムに合わせて24時間対応も可能です。

国内外より大切なゲストにお越しいただくのですから、時間に制限なく交流できる場が必要です。ポスターセッションとホスピタリティーを組み合わせ夜遅くまで活発なディスカッションをご開催いただけるよう、時間に関わらず、専属コーディネーターが会議プログラムに合わせてアレンジ致します。



きめ細やかなサポート

会議準備段階から、当日の設営や会議期間中、会議終了後の事後処理まで、全て専属のコーディネーターが担当オペレーター／運営スタッフとチームを組んで会議を全面バックアップ致します。また、各国からお越しのゲストに合わせて宗教上／慣習上の違いに関するお食事やお祈りのスペースなど、細かなリクエストにも喜んでお応え致します。海外の主催者様とのやり取りもお任せください。



迅速にお見積りやレイアウト、企画案を作成致します。

最適な会場使いの提案を致します。

印象に残る会議プランの実現のため、ご希望に可能な限りお応えします。



周辺施設のイベント情報

淡路島国営
明石海峡公園

人気のカブトムシ・クワガタムシなどの生き物や食虫植物を観察しよう。

世界のカブトムシ・クワガタムシや、食虫植物(8/13~21)を展示。ヘラクレスなど珍しいカブトムシに実際に触れることができます(平日のみ)。また、大きな角に乗れる巨大オブジェはお子様に大人気! 他にも工作やお絵かきなど、イベントが盛りだくさんです。詳しくはホームページをご覧ください。<http://www.kkr.mlit.go.jp/akashi/>

世界の
カブトムシ・クワガタムシ
&
食虫植物大集合 2011

※8/22のイベントはお休みです。

8/31 (水)
まで



公共交通機関 ▶ 運賃、時刻表等、詳細はHPをご覧ください。<http://www.yumebutai.org>

関西国際空港	バス110分(三宮で乗換)		
	バス90分	東浦IC	車10分
新神戸駅	バス60分(三宮経由)		
JR三ノ宮駅	バス45分		
JR舞子駅	バス15分		
明石港	高速艇15分	岩屋港	バス10分
徳島市内	バス95分(舞子で乗換)		

淡路夢舞台

あ と が き 夏を代表する花、ひまわり。別名は日輪草(にちりんそう)・日車(ひぐるま)、英名ではサンフラワーと呼ばれ、どれも太陽に由来した名前がついています。その語源は、「日まわり」、つまり日を追って回る花という意味です。ひまわりはつぼみができ始めるまでは、朝は東、夕方は西にと太陽を追いかけて動き、夜の間に西から東へと向きを変えます。この一連の動きは花が咲くころまで続き、開花した後、多くの花は東を向いたまま動かなくなるそうです。明るく元気なイメージのひまわりは、今夏も夢舞台に隣接する明石海峡公園で大輪の花を咲かせています。色鮮やかな花と緑がたっぷりの淡路島にぜひお越しください。(川東)

